

企業・施設等の皆様へ

現場実習にご理解とご協力をお願いします

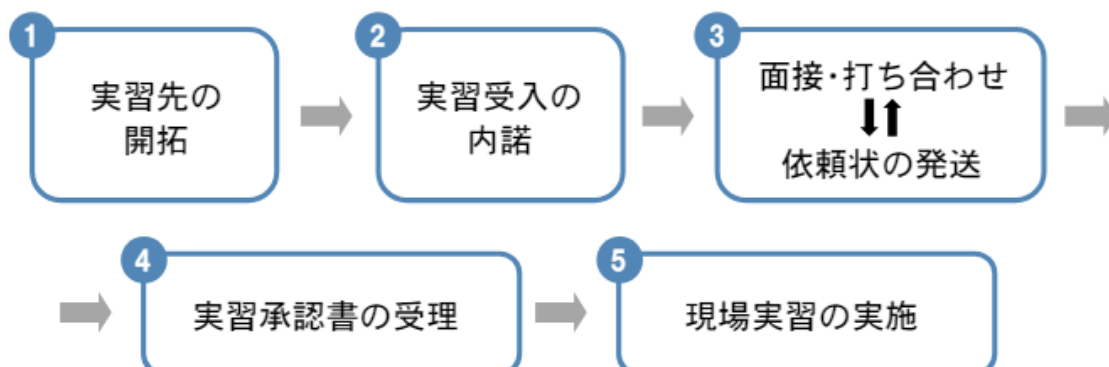
目的

- 1 実際の生産活動の場面において、卒業後の職業生活に必要な基礎知識、技能、態度を養う。
- 2 社会への適応を図るための能力・特性を把握しながら、意欲や向上心の一層の喚起と育成を図る。
- 3 実習結果を基に適性を見だし、進路の見極めを行う。
- 4 実習を通して、地域社会に知的障害者の職業的自立、社会的自立についての理解を深める。

3年間の実習の流れ

	1年 経験・選択の幅を広げる	2年 適性を見極める	3年 進路決定を目指す	進路決定
1学期	○校内実習Ⅰ 6月中旬 2週間	○校内実習Ⅰ 6月中旬 2週間	○現場実習Ⅰ 6月中旬 2週間	
2学期	○校内実習Ⅱ 10月中旬 2週間	○現場実習Ⅱ 10月中旬 2週間	○校内実習Ⅱ 10月中旬 2週間	
	○デュアルシステム型 現場実習Ⅰ 11月下～12月上 ※週1を3日間		○現場実習Ⅱ 10月中旬 2週間 ※必要に応じて	
3学期	○デュアルシステム型 現場実習Ⅱ 1月中～下旬 ※週1を3日間	○現場実習Ⅲ 1月下旬 2週間 ※必要に応じて	○現場実習Ⅲ 1月下旬 2週間 ※必要に応じて	

実習までの手順



実習概要

- (1) 実習期間 (令和6年度の期日: 6/17~6/28 ・ 10/21~11/1 ・ 1/20~1/31) 2週間を年3回
 - (2) 時 間 8:30~17:00の範囲内で調整します。
 - (3) 対象生徒 高等部2年生・3年生
 - (4) 経費報酬 経費は、生徒・保護者の負担となります。
また、教育活動となりますので、報酬はいただきません。
 - (5) 災害補償 事故発生時には、学校の災害共済給付が適用になります。インターンシップ保険にも加入しています。
 - (6) 巡回指導 学級担任及び進路担当が適宜訪問して、指導に当たります。生徒の様子や課題などをお聞かせください。
- ※現場実習が就労に結びつくのが理想ですが、将来の進路選択に役立てることが大きな目的です。

生徒について

- (1) 具体的に分かりやすい言葉で説明したり、手本を示したりして仕事を覚えれば確実な仕事ができます。
- (2) 簡単な仕事でも、根気よく続けられる生徒が多いです。
- (3) 具体的にわかりやすい言葉で説明して安全に対する約束を理解すれば、安全に対する約束を守ることができます。



その他

- ★中学部職場体験(7月頃) ※1日のみ実施
- ★高等部校内実習の部材提供(令和6年度の期日: 6/17~6/28 ・ 10/21~11/1) 2週間を年2回
※部材提供例: エアコンフィルターの折り・袋詰め、シール貼り、ボールペンの芯の袋詰め、雑巾縫い、バリ取り等
- ★高等部デュアルシステム型現場実習(集団実習)
【第Ⅰ期】(11月下旬~12月上旬)、【第Ⅱ期】1月中旬~下旬 ※週1を3日間実施

中学部職場体験 ・ 高等部校内実習の部材提供
高等部デュアルシステム型現場実習にも
ご理解とご協力をお願いします

問い合わせ先

茨城県立鹿島特別支援学校

進路指導部

住所: 茨城県鹿嶋市沼尾1195番地
電話: 0299-82-7700
FAX: 0299-84-1576
Mail: shinro@kashima-sn.ibk.ed.jp

げんきに
なかよく
たくましく

